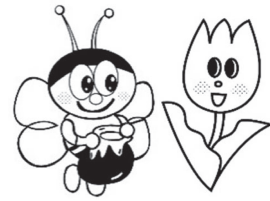


# おかげさまでもうすぐ通算800号 「こすど地区公民館報」



こすど地区公民館報は、昭和24年10月に「公民館報こすど」としてスタートしました。以来、社会教育、生涯学習をはじめ、地域の行事や話題の情報発信として長年、地域住民の皆様に慣れ親しまれています。令和3年8月で通算800号の発行を迎えます。新潟県内、ひいては全国的に見てもここまで継続して（昭和24年10月の第1号から数えて令和3年3月で第795号）発行している伝統ある館報は「こすど地区公民館報」ぐらいしかないのではと思います。そこで、本号では、「昔の公民館報を振り返る」ということで、昔の紙面を引き出して当時の記事について振り返っていききたいと思います。

# こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟市秋葉区小須戸120番地5  
TEL (0250) 25-5715  
FAX (0250) 38-5210  
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

第200号



発行所 小須戸公民館  
発行人 間野良一知  
印刷所 玉庭印刷所  
毎月1日  
一部5円

## 正しくみつめてやろう

## 青少年の健全育成を

七月十四日青少年の健全育成について、いかにあるべきかどうすべきかについて、青少年問題協議会が、町長を始めとして中小学校の先生方、PTAの役員の方、小須戸幹部派出所長、協議会委員保護司、婦人会長等多数の御出席を得て間野公民館長司会のもとで開かれました。

青少年の不良化、非行化の著しい傾向は現在のところ見受けられないがオートバイ、バイク等の無免許運転があり、特に技術の未熟のため即交通事故となる例がたくさんでいるので、家庭の方はキーの保管等について、充分注意していただきたい。

夏休みになりましたので休み期間中規則正しい生活を実行するため、まづ朝のラヂオ体操がもっとも身近なものと考えられるので、中学校において地域地域の指導員が指導委員の仕事を、このラヂオ体操を実施することにしてほしい。

地域の大人の方々も皆って参加しようご協力をお願いします。

交通安全についてはこの夏休み中、特に気を付けて道路では自転車に乗って遊ばないこと、又道路を歩くときは必ず右側を歩くこと、自転車の二人乗りは絶対にしてない。又婦人の方々はよく交通規則を守り、親がまづ手本を示すようにお願いしたい。

愛の一声運動については子供が危険な場所に行たら「危ないよ」と一声を、悪いことをしていたら「いけませんよ」の一声を掛ける勇気を、大人は持ちましょう。

子供を水の事故から守るために、危険な用水、排水路、川等充分子供にいい聞かせ、水の事故から子供を守りましょう。

お盆、秋祭りの時期となりまして危険な花火遊びには充分注意しましょう。

家庭の日は毎月第三日曜日です。できるだけ都合等ばきけて、一家庭らん話し合いの日としましょう。

青少年は大切な国の宝であります。

青少年に生きがい、張り合いを持たせることに努めましょう。

毎日が楽しく、学校は楽しい、職場は楽しい。

学校は張り合いがある。職場は生きがいがある。私達町民はよく青少年を見守りましょう。

(民生型)

◆(上)第200号(昭和46年8月号)この時代も家庭教育について熱心に取り組んでいました

◆(右)第300号(昭和54年12月号)新津南高等学校の新設にあたり、熱い話し合いが行われていました



◆(下)第400号(昭和63年4月号)創刊第1号からの特徴的な記事について振り返ってました

## 「最近嬉しいと思った出来事は何ですか？」



巖 美乃里さん

私の通っている学校ではコロナの影響で修学旅行や体育祭が次々に中止となり本当に残念に思っています。ですが最近嬉しいことがあります。桜ヶ丘に公園があり「桜ヶ丘団地公園」と木

## 「よい高校をつくるには」 勤協主催で教育を語る会

勤協矢代田支部主催の第三回教育を語る会が、十一月十日の夜、矢代田公会堂において開かれ、地元・山の手会、町部の会員等七十名が参加して、次のテーマで話し合いが行われました。

新設高校を守り育てるには

新設高校のかかえる諸問題について

講師には、黒埼高校・小島先生、新津高校・長井先生、小須戸中学校・小熊先生を迎えて行われました。

よい高校をつくるには全町民の理解が第一に必要であり、町民が、あの高校はA、この高校はBというようにランクづけをするのからやめなければならぬ。

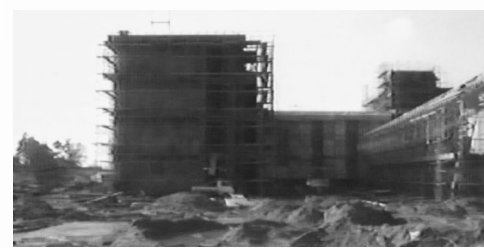
小須戸中学校から優秀な生徒が大勢入学すること、よい高校をつくる

勤協主催で教育を語る会

～小須戸町勤労者協議会～

第一歩につながるのではないかと。不安もあるが、よい高校をつくるチャンスでもある。

学力・進学・就職・非行等々、問題がたくさんあるが、町民がよく理解し、協力しなければ、よい高校はつけれない等々話おそくまで、熱心な話し合いが行われました。



◆(上)第500号(平成8年8月号)発展した町の航空写真が大きく掲載されてました

### あの時こんなことが書いてあった

～今までの館報記事を見る～

種目	1年名	2年名	3年名	合計
男子	135名	158名	125名	418名
女子	108名	169名	94名	371名

（創刊号、昭和24年10月1日）

中学校では全校一斉に九月十日、学校外における生徒の遊びについて調査した結果、次のような統計を得ました。

種目	1年名	2年名	3年名	合計
野球	五、二	五、七	五、六	一五、五
サッカー	一、三	一、三	一、六	四、二
水泳	〇、七	九、五	〇、〇	一〇、二
その他	一、三	一、三	一、六	四、二

美談（60号、昭和30年10月1日）

五月十日の午後二時頃のこと

新保地内道路を通行の龍玄新田渡辺清次郎さん偶然前方道路沿いに流れる用水掘端で遊戯中の

同字石黒吉一さん次男勝雄ちゃん（当時三才）が誤って用水中へ転落したのを目撃したので、渡辺さんは着衣のまま、堀へ飛び込み、これを助けあげ事なきを得たが人命救助の美しい一コマであった。

原型復旧に約三億

（147号、昭和39年7月15日）

さる六月十六日の午後新潟地区一体をおそった地震は、各地で大きな被害をだしたが、小須戸町でも各所で被害を出した。特に当町では全壊住宅を三戸もだし、土蔵についてはほとんどが被害を受け、使用不能のものも数戸でいる。

## 500号記念特集号

小須戸公民館報

◆(上)第500号(平成8年8月号)発展した町の航空写真が大きく掲載されてました

※当時の公民館報をスキャンしたものを紙面に使用しています。読みづらい点がありますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。（裏面あり）

## 「第11回にいがたボケ(ワン)スリッパ卓球大会」の中止について(お知らせ)

3月7日(日)に開催できるよう、実行委員会一丸となって準備を進めてまいりましたが、全国的に新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから、今年度の大会につきましても中止となりました。

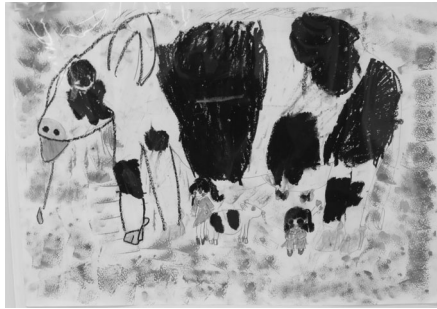
で彫られた看板があるのですがその看板の字を祖父が彫ったと聞きました。実は昨年の十二月に祖父が亡くなり自分自身とても気分が落ちていました。そんな時にこの話を聞き、亡くなった今でも看板に祖父の字が残りに残っていることに私はとても嬉しく感じました。このコロナ禍で先の見通しが付きませんが、日常の小さな喜びを見つけて前向きに過ごしていきたいと思います。

# 第2回 アグリ・アート展 矢代田小1年生が入賞!

子どもたちが本格的な農業体験ができる南区の「新潟市アグリパーク」が、動物や野菜を描いた作品を募集した「第2回 アグリ・アート展」において、「小学校の部 グランプリ」に矢代田小学校の飯野初花(ういか)さん、「JA 新津さつき賞」に池上こころさんの作品が入賞しました。作品と審査員の講評について下記のとおりご紹介します。

**JA 新津さつき賞** 池上 こころさん  
(矢代田小1年)

「ぼたん」となかよくなったよ



### 【審査員講評】

お母さん牛が本当に立派で、力強く描かれています。そのお腹の下で、子牛がおっぱいに近づいていく様子が表現されています。



**グランプリ** 飯野 初花さん  
(矢代田小1年)

「げんきもりもりのうしに  
びっくりするわたし」



### 【審査員講評】

自分でつけた題名どおり、元気もりもりの牛にびっくりする私がとても見事に表現されています。また、お鼻や乳房もしっかりと観察されてきちんと描かれています。

【前ページからの続き】

◆第600号(平成16年12月号)これまでの活動が評価され、全国優良公民館表彰を受賞しました



受賞を喜ぶスタッフ一同

中越地震の余震が続くというなか「こすど地区公民館」が、町民に元気を出してもらうべく、教育長からの激励を受け、表彰式前日の早朝、郡山から新潟市まで、約100kmの道のりを走り、2月29日(金)霞ヶ関ビルで表彰式が行われ、全国から選ばれた六十の公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受けました。表彰式に引き続いて、皇居において、天皇・皇后両陛下に拝謁し、お言葉を賜りました。

この受賞は、県連や県の行政機関の指導をいただきながら町行政の強力な支援を受けて社会教育において優れた伝統を築いてきたその実績が認められたもので、重く大きな受賞であると感じています。



中央公民館長 佐藤 貞夫

全国優良公民館表彰を受賞して  
— この喜び分かち合いたい —



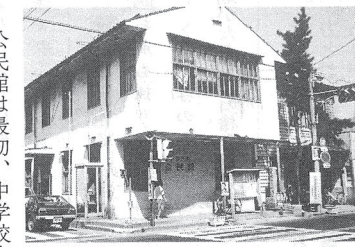
重く大きな表彰状

◆第700号(平成25年4月号)公民館の成り立ちについて特集していただきました

「こすど地区公民館報」700号記念コラム

## 「公民館」と「公民館報」っていつてきたの?

公民館という呼び名で言われるようになったのは昭和二十一年頃で、すでに旧小須戸町では、国と県が指導する「公民館設置条件」にほとんど一致した「文化協会」が設立されており、当時県下でも注目され各地から視察に訪れていたというところです。



現在の公民館の前身「小須戸町公民館」

これを受けて昭和二十三年九月の町議会で議決され、「小須戸町中央公民館」は、正式に発足したのです。そして、翌二十四年十月に第一号の「公民館報(すど)」が発行され、以後半世紀の長きにわたり県下でも有数の館報として皆様に親しまれてきたのです。

公民館は最初、中学校内に置かれていたが、昭和二十六年には今の商工会の場所にあった「町織物同業組合」を改築し設置され、以後転々と場所を変えて昭和五十年現在の地に建設されました。

このように多大な功績を残した、先人の社会教育に対する情熱に心から敬意を表するものであります。

### 小須戸地区図書室 新刊案内

#### 【一般書】

- ・『新ダイエットごはん』 上西 一弘/監修, 磯村 優貴恵/料理制作
- ・『雑煮 365 日』 松本 栄文/著
- ・『JR 上野駅公園口』 柳 美里/著
- ・『徒然絵つづり百人一首』 大田垣 晴子/著
- ・『人は話し方が9割』 永松 茂久/著

#### 【児童書】

- ・『迷路探偵ピエール 水の街の秘宝を追え!』 カミガキ ヒロフミ/作, IC4DESIGN/作
- ・『十二支のお雑煮』 川端 誠/作
- ・『くるまはこびます』 小風 さち/ぶん, 鈴木 周作/え
- ・『のびるじどうしゃ』 平山 暉彦/さく
- ・『はたらくじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え
- ・『どうろをつくるじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え
- ・『かじをけすじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え
- ・『ビルをつくるじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え

### 秋葉区健康福祉課「健康ひとロメモ」

#### 花粉症の時期がやってきます\*

**<花粉症とは?>**  
植物の花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応のことです。くしゃみや鼻水、涙などで体の外へ出そうとします。花粉の飛散状況は、環境省や日本気象協会のホームページで随時確認できますので、参考にしてください。

**<花粉対策の一例>**  
・服装はポリエステル等のすべすべした素材がおススメです。  
・つばの広い帽子、サングラス、手袋で露出を少なくしましょう。  
・換気は、窓を開ける幅を10cmに、またレースカーテンをすることで室内に入ってくる花粉量を1/4に減らすことができます。コロナ感染対策のためにも換気は大切です。

## 文芸欄

<p><b>短歌</b></p> <p>雪の朝 雀に覗かれ朝ごはん 餌はあるかと雀に問うて</p> <p>こみみけ</p>	<p><b>川柳</b> &lt;雪&gt;</p> <p>豪雪地 手を取り合って春を待つ 老体のシッパを泣かす雪の嵩 朝起きて雪のカサ見るくせになり 雪道を譲り合いする暖かさ 雪除けでジムに行かないダイエット 落のとう雪をかき分け春告げに</p> <p>奉和 崇</p>	<p><b>俳句</b></p> <p>夜明けかと思ふ真夜の雪明り 隣人の助入うれしや雪の朝 雪おろし四角に切つて軽々と 小豆粥さし入れうまし初句会 高熱のよもやと思ふ風邪の夫 疫病を焼き尽くしてやどんどの火 生き死には憂き世のならひ寒椿 老いてなほ土の香恋し黄水仙 お日さまに御目細める京雑</p> <p>熊倉ひろむ</p>
---	--	---

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、3月19日(金)までに小須戸地区公民館へ。  
(※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。)



# ターゲットバードゴルフ講習会 in 親水公園!

ボールを飛ばす力がなくても楽しめます。初心者の方大歓迎。広々とした屋外でスポーツを楽しみませんか?



- ◆日 時 令和3年4月10日(土) 小雨決行  
順延の場合4月11日(日)  
9:00~12:00
- ◆参加費 500円(保険料・参加賞)当日受付でお支払いください。
- ◆募集人数 先着30名
- ◆服装/持ち物 動きやすい服装、運動靴、飲み物、タオル、マスクを着用ください。  
ゴルフの経験者で、P、PWとティーマットをお持ちの方はご持参下さい。  
(※未経験者の方の道具は事務局で用意します)

- ◆申込方法 下記の事務局にある参加申込書にご記入の上、お申込ください。  
・小須戸まちづくりセンター ☎ 0250-25-7069  
・小須戸地区ふれあい会館 ☎ 0250-38-3151  
・小須戸武道館 ☎ 0250-38-2121
- ◆申込締切 3月28日(日)までお願いします。
- ◆問合せ先 高野 豊さん 携帯 090-4098-4356

※予め発熱や体調の優れない場合は参加をご遠慮下さい。  
※新型コロナウイルスの感染が拡大した場合には、やむを得ず中止とする可能性があります。

主催:小須戸コミュニティ協議会/山の手コミュニティ協議会/小須戸地区スポーツ振興会  
※この事業は新潟市の補助金を受けています。

編集委員の つぶやき

厳しい寒さ、雪との闘いだったけど、日が長くなってきましたね。日差しが嬉しい今日この頃ですね。(S)